

科目名	調剤系実習			ナンバリング	MED474	授業形態	実習
対象学年	4 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	村田 亮	担当教員	○村田亮、○吉川真一、○渡邊義久、○福地祐司、住谷賢治、永田隆之、石川暁志、飯塚康人				

授業の概要	薬剤学領域における薬の効くプロセス、薬物治療に役立つ情報、製剤化のサイエンス、調剤などについての知識・技能を修得することを目的とする。						
到達目標	医療人としての心構え、処方せん、調剤業務、製剤の性質、製剤の調製、製剤試験法、医薬品の製造と品質管理、薬物動態の解析などの知識・技能を身に付けることを目標とする。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	3年次までに学んだ薬剤学基礎分野の生物薬剤学、物理薬剤学などを復習して実習に備える。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
医療人としての心構え、処方せん、調剤業務、製剤の性質、製剤の調製、製剤試験法、医薬品の製造と品質管理、薬物動態の解析などの知識・技能を身に付けることができる。	医療人としての心構え、処方せん、調剤業務、製剤の性質、製剤の調製、製剤試験法、医薬品の製造と品質管理、薬物動態の解析などの知識・技能を身に付けて実践することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート	○	○	○				10%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	○		○	○	○		30%

課題、評価のフィードバック	毎回のレポートは添削し、次回の実習時に返却する。
---------------	--------------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	ガイダンス(実習概要、進め方、評価方法) 医療人としての心構え	医療人としての薬剤師の使命や倫理などについて説明できる。	SBO: F1-(1)-②-1～3
	第2回	処方せんの基礎①	処方せんの基礎について説明できる。	SBO: F2-(2)-①-1 SBO: F2-(2)-②-1～4
	第3回	処方せんの基礎②	処方せんの基礎について説明できる。	SBO: F2-(2)-②-5,6
	第4回	調剤室業務入門①	調剤室業務について説明できる。	SBO: F2-(2)-③-1,2,3,8
	第5回	調剤室業務入門②	調剤室業務について説明できる。	SBO: F2-(2)-③-1,2,3,4,5,8
	第6回	調剤室業務入門③	調剤室業務について説明できる。	SBO: F2-(2)-③-1,2,3,4,5,8
	第7回	製剤の性質①	製剤の性質について説明できる。	SBO:E5-(1)-①-1
	第8回	製剤の性質②	製剤の性質について説明できる。	SBO: E5-(1)-②-1
	第9回	製剤の調製①	製剤を調製することができる。	SBO:E5-(2)-①-1,2,4 SBO:F-(2)-③-1,2,3,5,6,8
	第10回	製剤の調製②	製剤を調製することができる。	SBO:E5-(2)-①-1,2,5 関連コアカリE5-(1)-①-1,2
	第11回	製剤試験法①	製剤の試験法を実施できる。	SBO:E5-(2)-②-4、E5-(2)-③-1 SBO:F-(2)-③-10、関連コアカリE5 ②
	第12回	製剤試験法②	製剤の試験法を実施できる。	SBO:E5-(2)-②-4、E5-(2)-③-1 SBO:F-(2)-③-10、関連コアカリE5 ②
	第13回	製剤試験法③	製剤の試験法を実施できる。	SBO:E5-(1)-①-1,5 E5-(1)-②-1 E5-(1)-③-1、関連コアカリE5②
	第14回	医薬品の製造と品質管理	製薬会社の工場見学で製造管理と品質管理の工程を説明できる。	SBO: E5-(2)-5-1,3
	第15回	薬物動態の解析	薬物動態を1コンパートメントモデルで解析することができる。	SBO: E4-(2)-①1,2
	試験	実習で行った内容について出題する。結果が60点未満の者は、再試験に備える。再試験を受ける者は、実習内容について勉強の確認をするので必ず担当した教員に打ち合わせに来ること。		
授業の進め方		基本的に実習講義と実習、レポート作成で進める。		
授業外学習の指示		実習の内容について予習、復習を行う。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	①第十四改訂調剤指針、日本薬剤師会編、薬事日報社4,800円 ②調剤業務の基本(知識、態度)、上村直樹他監修、羊土社、3,800円③調剤業務の基本(技能)、上村直樹他監修、羊土社、3,700円、④治療薬マニュアル、医学書院、5,000円、⑤カルテの読み方と基礎知識、じほう、2,800円
参考書	
参考URLなど	
その他	薬剤師に求められる10の資質のうち、以下に示す10の基本的な資質のうち、以下に示す3項目の資質の醸成に寄与する。①薬剤師としての心構え、⑤基礎的な科学力、⑥薬物療法における実践的能力、⑧研究能力、アドバンスト5%、大学独自10%